



# るうてる



2015年  
**12**月  
No.816

■発行所 ■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1  
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>  
■ E-mail ■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)  
■発行人 ■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp  
■印刷 ■ 精文堂印刷株式会社  
■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)  
■振替口座 ■ 00190-7-71734

## 説教「罪人たちのクリスマス」

### All I want for Christmas is You Sinner!

日本福音ルーテル板橋教会・東京教会 牧師 後藤直紀

「『キリスト・イエスは、罪人を救うために世にいられた』という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します。」  
(テモテへの手紙 1章15節)



り落とすと天使は力を失って、とうとう上りきれなくなってしまう、結局天使はペトロの母親を振りほどいて下りて行ってしまふのです。それを見てイエス様がペトロにむかってこういふふうに言いました。「お前はここの有り様を見たか？だからわたしが下界へ下りて行ったのだ」。

キリストは天国から下界を見下ろして、人々が天国に自分の力で上ってくるのを待っている。...

そういうお方ではなく、人間のこの罪の世界に自ら下りて行くお方である。...

そのことをラゲルレーヴは、このお話から語っているのです。

「キリスト・イエスは、罪人を救うために世にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「義には、神の救いと強い関連があった。神はイスラエルの敵からイスラエルを守り、圧迫する者から個人を救い出す。それが、神のツエダカーであった。」

ところが、ラテン語のユステイティア(義)は、もともと世俗的な単語で、ツエダカーが持っていた救いと関連したニュアンスはなかった。その上、ユステイティアという言葉には、「ローマ法」の定義に基づいた理解が重なっていた。

ユステイティアは、「各々の人に、その人自身が権利として持つものを与えること」としての義(正義)を意味していた。そして、その意味合いが、神学の領域に忍び込んで来ることは避けられなかった。

「神の義」をめぐる本格的な論争は、アウグスティヌスとペラギウス主義者の間で行われた。ペラギウス主義者によれば、神は「正しい人を義とする」方であった。アウグスティヌスは「神は罪人を義とする」方であると反論し、「神の義は、人間の正義とは違つと論じて、『ぶどう園の労働者』のたとえを持ち出す。神の義は、朝早く働き出した人にも、遅く働き出した人にも、等しく向けられる。たとえ話はそう語っている。」

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!



クリスマスが近づいて来ると、1994年にヒットしたマライア・キャリーの「恋人たちのクリスマス」(原題「All I want for Christmas is You」)クリスマスに欲しいもの、それは「あなた」という曲が自然とわたしの頭の中に流れてきます。でも本当は「恋人たちのクリスマス」ではなくて「罪人たちのクリスマス」というのが真実なのではないでしょうか。キリストがこの世にお生まれになったその意味を考えると、そのように思えてくるのです。

スウェーデンの作家で1909年にノーベル文学賞を受賞したセルマ・ラーゲルレーヴという人がいます。この人はキリストに関する伝説のようなものを題材にして小説を書いていて、その中に『わが主とペトロ聖者』という小さな短編があります。芥川龍之介の有名な『蜘蛛の糸』のお話の元になったとされる作品で、大変興味深いお話です。

お話をわかりやすく要約しますと、イエス様とペトロが天国に行つて、天上から下界を見ていると、ペトロが下界の様子を見て泣くのです。「自分はこうやってイエス様と一緒に天国に来て大変幸福だ。でも自分の母親はじつは地獄で苦しんでいます。そのイエス様の言葉を受けて、天使は羽を広げて矢のように地獄へと下りて行き、ペトロの母親を迎えに行くのです。ペトロはしばらく

地獄を覗き込んでいます。なかなか天使が上りて来ません。しばらくして、天使が勢いよく下から母親を連れて上りて来るのが見えてくるのです。よく見ると、その母親の肩と言わず腕と言わず足と言わず、大勢の人がしがみついています。そして大勢の人たちがしがみついているにもかかわらず、天使は勢いよく天国に向かって上りて来るのです。「おお、すごい!」しかし、よく見ると、ペトロの母親が途中で、自分だけがみついているその人間をどんどんと振り落としていっています。そして不思議なことに、人が下へ下へと落ちて行くにしたがって天使はだんだん上りてくる力が弱くなつてくるのです。とうとう、最後の一人が母親に必死にしがみついていますと、天使は喘ぎ喘ぎ上りてくるようになる。そして天使が喘ぎ喘ぎ上りて来る途中に、最後に残った一人を母親が振り

り落とすと天使は力を失って、とうとう上りきれなくなってしまう、結局天使はペトロの母親を振りほどいて下りて行ってしまふのです。それを見てイエス様がペトロにむかってこういふふうに言いました。「お前はここの有り様を見たか？だからわたしが下界へ下りて行ったのだ」。

キリストは天国から下界を見下ろして、人々が天国に自分の力で上ってくるのを待っている。...

そういうお方ではなく、人間のこの罪の世界に自ら下りて行くお方である。...

そのことをラゲルレーヴは、このお話から語っているのです。

「キリスト・イエスは、罪人を救うために世にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

「お前は天国にいられた」という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します」と聖書はわたしたちに告げています。クリスマスにイエス様がお生まれになった。罪人を救うためにこの世にいられたイエス様のご降誕を「罪人たちのクリスマス」としてお祝いしたいものです。イエス様もきつとこのように言いたいのではないのでしょうか。

「All I want for Christmas is You Sinner! 疲れはてし罪人よ、われにとく来よ!」。メリー・クリスマス!

キリスト教を知らない方に、宗教改革とルターについてお知らせする情報サイトが開設されました。

「Info Reformation 500」  
<http://luther500.wix.com/jelc>



あなたが好きなルターの言葉を投稿いただくコーナーもあります。

宗教改革500年推奨図書第3弾  
『アウグスブルク信仰告白』  
フリッツ・メランヒトン著  
ルター研究所訳  
定価1000円+税  
発行リットン (電話045-433-5267)

ルターの同僚メランヒトンが執筆し、宗教改革を導入した諸侯や都市の代表の署名を付して、1530年アウグスブルクの国会で、皇帝カルル5世に提出された信仰告白文書。ルーテル教会のアイデンティティを定める役目を果たしてきた。





議長室から

入りました。アドベントとは、「少しずつ近づくと」という意味。克蘭ツ（リース）のろうそくに主日ごとに一本ずつ火を灯していくことは、アドベントの意味を目に見える形で表現しています。1週間ごとに相応しい備えの日を積み重ね、そしてクリスマスを迎えたいものです。

### 備えの日を積み上げよう

総会議長 立山忠浩

準備すべきことは様々な道行く人々が教会に目を向ける唯一の時と言っても過言ではありません。キリスト教に興味を持ち、教会を一度覗いてみたいと思っただけでも、その1歩を踏み出すことがどんなに勇気のいることか、私自身が学生時代に体験したことでした。教会の近くまで何度か行きながら、なかなか入ることが出来なかったのです。そんな思いを抱いている人一人でも教会に招くために、私たちはそのような方々の視線を意識して準備をしていくのです。

でも、もっとも大切な準備はそれらではありません。様々な準備は無論重要なことですが、その前にしなくてはならない備えがあるのです。それはみ言葉を思い巡らすことです。マリアは受胎告知の天使の言葉を思い巡らし、心に留め続けたのです。私たちは主日ごとに語られる説教を思い巡らし、聖書日課で与えられたみ言葉を心に留めるのです。

**主よ、あなたはわたしの希望  
なごや希望教会・宣教100周年**  
松隈芳久(なごや希望教会)

年、その15年後に名東教会が生まれました。この3つの教会が6年前に一つになった。今はそれぞれの礼拝所に集いつつ、合同礼拝を重ね、女性会、壮年会なども努めてきた。近い将来、宣教的に優れた今池の地に新会堂を建て、そこに集結する。有能な建築アドバイ



### 神の教会 下関教会宣教100周年の喜び

岡本隆子(下関教会)

10月31日10時30分に鐘が鳴り、オルガンの前奏と共にろうそくに火が灯され、下関教会宣教100周年記念礼拝が行われました。120名近い方々の出席があり、懐かしいお顔も大勢ありました。

前奏を聞きながらこれまでの事が心に浮かんで消えていきました。昨年久しぶりに開催された

春と秋のバザー、記念コンサート、練習に明け暮れた聖歌隊、記念誌発行の作業、教会建物の改修、教会内外の整理と清掃直前の準備など、本当に忙しい日々でした。特に今年は連日打ち合わせ、準備作業、聖歌隊練習が重なり、「出勤簿があればみんな皆勤賞だね」と笑い合いました。信徒一同、本当に一丸となって準備をしてきました。

考えてみれば、個性豊かな人々が誰に命じられるのでもなく、できることを無理なく、心を込めて仕事をしているという

のは不思議なこと。皆が同じ目標に向かって歩んでいる強さを感じました。神様の交わりによって皆が動かされているとしか思えません。私自身、一つ一つの準備で確かに神様が共にいてくださると感じ、この恵みのうちにあることを神様に心から感謝しました。

説教は小泉基牧師に担っていただき、下関教会の歴史、ご自身の下関教会での思い出を交えながら、神様のみ言葉をとりついでくださいました。滝田西教区長が「50周年は一人一人の顔が見

え、人で成り立つ感のある教会だが、100周年となると真に神様の教会と感ずる」とおっしゃり、100年とは確かにそういうことだと思いました。歴代の牧師、信仰の先達のご苦勞を感謝しつつ、神様の下に一つになった気がしたのは私だけではなかったでしょう。

記念講演会で、立山総会議長から「宗教改革500年に向けて日本福音ルーテル教会の取り組み」とのお話を伺いました。ルターへの教会として500年に向けての準備

が始まることに、胸の高鳴りを覚えました。こうして、喜びと感謝に満ち溢れた一日が終わりましたが、祝賀会最後の挨拶に立った市河代議員の「念願の100人礼拝がこのようなかたちで実現するなんて感謝です」の言葉に、信徒一同は、この恵みと感謝の気持ちを伝道へつなげてゆきたい、神様はそれを望んでいらっしゃる」と感じました。

感謝に満ち溢れた一日が終わりましたが、祝賀会最後の挨拶に立った市河代議員の「念願の100人礼拝がこのようなかたちで実現するなんて感謝です」の言葉に、信徒一同は、この恵みと感謝の気持ちを伝道へつなげてゆきたい、神様はそれを望んでいらっしゃる」と感じました。



記念礼拝前日には、淀川キリスト教病院の柏木哲夫先生の講演会。聴く者を和ませながら、終末医療のあるべき姿が語られた。記念イベントは、この先、アドベントとイースターにコンサートが予定されている。100周年記念誌「エルピス(希望)」も発行された。合同前の個々の教会の通史と、なごや希望教会6年の歩みに添えて、教会員44名の未来に向けた投稿が綴られている。

記念礼拝の福音書10課はルカによる福音書10

にぎやかに時が過ぎ、国際礼拝バンドの演奏が始まる。国際礼拝は、この地に住む多国籍の人々が霊的に新たにされる場所。日曜日の夕に礼拝を持つ。名東礼拝所から2年前に今池礼拝所に移ってきた。フィナーレの「主よ、みもとに近づかん」の演奏に声をあわせる。宣教2世紀も、希望の主が導いてくださる。

課はルカによる福音書10





### 2015年宣教会議

事務局長 白川道生

第26総会期2回目となる「宣教会議」が9月29、30日にかけて、東京ルーテル市ヶ谷センターにて開催されました。この会議の出席者は、全体教会執行部4役、各教区から常議員が3名、教会事務局の室長2名(総務室長、宣教室長は兼任のため)加えて、信徒選出常議員の合計22名でした。

はじめに立山忠浩総会議長より、「日本福音ルーテル教会(JELC)第六次総合方策の主要課題」に関する所見が、会議の導入として述べられました。主要課題に列挙された事項は、①「財務課題」②「世・社会に仕える「デイアコニア活動」③「宗教改革500年記念事業」④「その他の課題」(収益事業の継続、教職給与、他法人への支援)と分類され、いずれも課題指摘の解説に留まらず、2012年以降に積み上げてきた足跡と課題解決への道筋の

提案を含むものでした。

続いて、事務局長より、JELCの教勢と考慮すべき基礎予測の分析結果がデータで説明されました。ここでは、「教職の大量引退」の実態を「向こう10年で32名が定年引退を迎え、2025年に最も教職数が減少し、80名強となる予測」を基礎動向と示し、これを考慮した討議が促されました。

全体教会事務局を構成する各室からは、管財室よりJELCの財務状況全般と教会建物の適切な保全管理、加えて収益事業の見直し分析の説明、宣教室と広報室は前後半に「2016年全国総会」に向けて進んでいる式文作成作業のペース及び神学、実施中の全国説明会で挙げた課題事項、規範性等など、意見交換により認識を深めました。本会議の終わり、最後の時間では出席者全員が思いを述べましたが、困難な状況に直面している各教会の状況を直視しながら、重い悩みを上回って、宣教の進展に向かう意思と実行への決意が語られたのが印象に残りました。

また、各教区には本会議に先立って「各教区における優先的な課題とこの後に続く課題予測」、「宗教改革500年記念事業への取り組みを通し

て教区に生み出そうとする事柄」の2点について発題レポートが要請されていきました。各教区での方策、直近の報告と発題は、宣教の実践の相互の学び合いから、現状認識を共有しつつ、問題点として解決方法を適切に実行するため、どのように自立と連帯をバランスさせるかといった、踏み込んだ討議につながっていきましました。



### 十字架の主、同時に勝利者キリストの降誕

天よりくだりて 嬉しきおとずれ

(教会讃美歌23番)

1737年降誕日の12月25日から新年の1月6日(顕現日)までの6回の礼拝のためにそれぞれカントータを作曲したバッハはこれをまとめて「クリスマスオラトリオ」とした。「主の命名日」(1月1日、へ長調)のほかの5つのカントータは二長調を基調として統一されて

いる。もちろん降誕日のカントータではルターの作詞が歌われる。ルターが自分の家庭のクリスマスで、子どもたちもよく知っている「海に向こうから私は来ました」というなどなぞ歌のメロディーに載せて作詞し、恐らく口伝で子どもたちに歌わせたのだから、その原詩を直訳して「空高くから私は来ました」と歌うのがよいと私は思っている。

全15節の歌詞はそれぞれクリスマス寸劇の趣きをもっている。後に

よいかと問い掛けているのである。しかもバッハはこのメロディーを、顕現日のカントータで、全体の最終曲の合唱でも使うのである。伴奏には祝祭にふさわしいトランペットまで用いられて、この主は十字架によって私たちのために勝利をもたらされたという明らかなメッセーヂを伝える。

### 聖書日課セミナーに参加して

米田節子(大阪教会)

10月19、22日に姫路城の近くのホテルを会場に第24回となる「聖書日課セミナー」が行われました。講師には、西日本福音ルーテル教会の教職であり、牧師として活躍されている有木義岳先生がおいでくださいました。

学んだのは「列王記」です。聖書研究会でもなかなか学ぶ機会のない列王記は、きつと難しいに違い

ないトドキドキしながら講義が始まりました。先生は、列王記が神の民イスラエルの700年に及ぶ栄華盛衰を描くものであることを話してくださいました。その後、特徴的な主様を取り上げてくださり、その一人一人のあり方の中に、私たちの信仰のあり方もあることに気づかせてくださいました。人間の表も裏も神さまの愛に捉えられ用いられているということをとでも身近に教えられました。

また先生は、聖書をサラッと読んではいけなさと教えてくださいました。分らない地名が出てくれば聖書地図や辞典で調べてみましょう。そうすることで、たとえば登場人物が町を移動したというとき、どのくらいの距離を移動したかを知るだけでも、その旅の過酷さを心に留めて聖書を読めるでしょうとおっしゃるので

す。そのような仕方では、有木先生は、さすがラジオ牧師ということもあり、まるで「み言葉を聴く」ように、列王記を「学ぶ」というより「マルコによる福音書」を学びます。今からは非、ご予約ください。





### 実践し続けた神学者 石田順朗先生を偲ぶ

清重尚弘(九州ルーテル学院院长)

敬愛してやまない石田順朗先生のご逝去を悼み、ご家族の皆様の上にお慰めをお祈り申し上げます。



1928年10月6日～2015年11月5日  
1955年接手

先生は、生涯「実践し続けた神学者」でいらつしやいました。象牙の塔にこもらず、どこでもオープンに交わり行動

なさり、さらに広い世界の地平へと歩み続けた希有の存在でした。

何よりのご貢献は、ルーテル世界連盟での活躍。7000万人会員の組織の3部門の1つ、神学部門の長として、慕われ、存在感を示されました。例えば、南アフリカのアパルトヘイトへの明確な批判宣言を「信仰告白的事態」として表明した背後に、先生の並々ならぬご尽力がありました。また、連盟の機構改革問題。単なる制度変更でなく、連盟は、キリストの体たるコミュニケーションの表現であると自己理解

へ飛躍するプロセスで、神学的対話に尽くされました。ローマカトリック教会との対話もご在任中に伸展しました。連盟を退かれて母校シカゴ神学校から招聘され、グローバルミッション研究を設立、長となつて、エキエムニカルな宣教師養成の責任を負われました。その後、前田貞一理事長の招きに依り、九州女学院短大の4年制大学化を見事に達成。ユニークなグローバル教育を作り上げました。さらに刈谷で牧会委嘱として10年間にわたる宣教師に専心されました。

若き日に岸千年牧師の熱烈な説教に靈感を受けて献身を決意。その初心を忘れず、東京の神学校教授時代に仙台市鶴ヶ谷での新しい伝道の理論をフィールドリサーチを踏まえて構築、信徒運動と共に歩まれました。その時代こそ東教区が宣教に燃えて、まさしく「元気」(ご近著より)を伝える教会の姿を示したのでした。

生涯「実践し続けた神学者」として、優しい笑顔で周りを包みつつ歩まれた先生の足跡を偲びつつ「元気」を分けていただけることを深く感謝致しています。

### ブラジル宣教50年記念訪問団報告

団長・副議長 大柴讓治

「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある」(コヘレトの言葉3:1)とあるように、10月9日より22日までの2週間、私たちは総勢6名でブラジルを訪問しました。日本福音ルーテル教会(JELC)が宣教師を派遣して50年という節目の「時」を記念し、共に祝うためです。JELCはこの間、藤井浩、塩原久、土井洋、竹田孝一、塩原久、紙谷守、渡

邊進、徳弘浩隆(現在)という8組の宣教師とその家族を派遣してきました。JELCのブランドとして始まったサンパウロ教会は1987年にブラジル福音ルーテル告白教会(IECLB)に加入。1997年に南米教会が加わり日系パロキアを形成します。ブラジル人牧師である大野健師(2013年に召天)とルイス・カルロス・メロー師(現在)を加え10人の教職がその歴史に関わってきたことになりました。

10月11日にサンパウロ教会の前の佐賀県人会館で行われた記念

聖餐礼拝と祝会には300名を超える参加者が与えられ大いに盛り上がりました。塩原牧師も来伯しておられました。その後私たちは、メロー牧師とアリセ・サノさん、徳弘牧師・由美子さんご夫妻、稲垣敦さんに加え、サンパウロ、リオデジャネイロ、ポルトアレグレ、イヴォチ、イタチ、グラマド、イグアスと足を運び、ブラジルという国の広大さと多様性とエネルギーと日系移民たちが積み重ねてきた歴史の重みなどを感じつつ、そこに確かに神の「祝福の時」が備えられて

きたことを味わいながら旅を続けました。10月18日にポルトアレグレ教会の主日礼拝で麻生正治さん(92歳)のお孫さんラファエルさん(8歳)の洗礼式と聖餐式に立ち会えたことは「神の時」を現す意味でも大変に印象的かつ象徴的なことでした。私たちが温かく受



### ルーテル「連帯献金」のお願い

日本福音ルーテル教会は、今日の社会・世界における福音の宣教、奉仕、災害・飢餓に苦しむ方々に連帯したいと願ひ祈ります。そのため「連帯献金」の呼びかけを致します。今年度も各教会及び教員・教会関係者の皆様から、多くのご献金を感謝致します。今後ともご協力をお願いいたします。

### ブラジル伝道

1965年から日本福音ルーテル教会の海外伝道として誕生した、サンパウロにある日系人教会の宣教支援と2009年4月より宣教師として派遣されている徳弘浩隆牧師夫妻の働きを支えるために、毎年200万円の募金目標を掲げています。ブラジル人牧師との協働などにより活発に活動が続けられています。

### 「喜望の家」

1976年に開設された大阪の「金ヶ崎ディアコニアセンター喜望の家」は日本福音ルーテル教会のセンターです。アルコール依存を抱えた方々の支援・相談、アルコールを飲まない生活を支えるための「自立生活支援プログラム」の提供、病院訪問、さらに「路上生活相談」として、路上生活を余儀なくされている方の生活や医療の相談を行い、路上生活から脱出を手助けする支援を展開しています。

### 「メコン流域支援」

日本福音ルーテル教会は「メコンミッション活動」として、メコン川流域の人々のための宣教・教育・奉仕事業を香港、シンガポールのルーテル教会と共同で展開しています。

### 「世界宣教のために」

緊急の支援を必要としている人々の救援活動及び宣

### 公告

この度左記の行為を致しますので、宗教法人法第23条の規定に基づき公告致します。

2015年12月15日

宗教法人  
日本福音ルーテル教会  
代表役員 立山由浩

信徒利害関係人 各位

### ●東京池袋教会牧師館建物解体

所在地 東京都豊島区池袋3丁目1633番地1  
所有者 日本福音ルーテル教会  
種類 牧師館  
家屋番号 1633番1の2  
構造 木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建  
面積 79・31㎡  
1階 79・31㎡  
2階 71・91㎡  
理由 老朽化により牧師館を新築するため。

### ●天草旧教会用地一部売却

所在地 上天草市大矢野町上字豊後谷  
所有者 日本福音ルーテル教会  
地番 5915番2  
地目 宅地  
面積 41・70㎡  
理由 主要道路拡張のために上天草市に用地の一部を売却するため。

### ●小岩教会土地一部取用

所在地 東京都江戸川区南小岩三丁目  
所有者 日本福音ルーテル小岩教会  
地番 1202番  
地目 境内地  
面積 34・49㎡  
理由 道路拡張のために東京都に教会用地の一部を供するため。

### ●小岩教会建物解体

所在地 東京都江戸川区南小岩三丁目  
所有者 日本福音ルーテル小岩教会  
種類 教会堂  
家屋番号 1202番  
構造 木造・亜鉛メッキ鋼板葺平家建  
床面積 134・42㎡  
地番 1203番  
1204番

### ●種類 保育所

家屋番号 1203番  
構造 木造・亜鉛メッキ鋼板葺2階建  
床面積 215・00㎡  
2階 50・40㎡  
地番 1204番

### ●種類 居室

家屋番号 1204番  
構造 木造・亜鉛メッキ鋼板葺2階建  
床面積 155・29㎡  
2階 28・09㎡  
地番 1204番

### ●理由 道路拡張による土地取用と老朽化による建て替えのため。

### 教会手帳住所録の修正

2016年版教会手帳住所録につきまして、表記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。また、住所録修正後に変更のご連絡をいただいた件についても併せてお知らせいたします。スペース都合上、詳細については次号へ掲載いたします。内容については、事務局(電話03・32260・863)へお問い合わせください。